

## 平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 3

取 組 名	道有林と国有林の森林行政担当者による技術交流会
流 域 名	石狩空知
森林管理署等	空知森林管理署
実 施 日	平成23年10月18日（芦別市道有林）
実 施 内 容	<p>流域管理の推進に向けて、道有林と国有林が連携した取組みが重要なことから、空知総合振興局林務課及び森林室（道有林行政担当者）と空知森林管理署（国有林行政担当者）は、平成22年度より「国有林・道有林林業技術交流会」を開催し、双方の事業の情報交換等を行っています。</p> <p>平成23年度は、芦別市道有林のトドマツ造林地において、道有林と国有林の職員計13名が参加し、ウダイカンバの一斉天然更新と合わせた間伐方法等について勉強会を実施するとともに意見交換を行いました。</p>
反 響 等	<p>北海道と情報交換が図られ、相手方からも好評であった。現在、流域活性化センターの活動が停滞しているため、今後は当技術交流会を活用しながら、流域内の自治体や林業・林産業関係者等へ情報提供等につなげていく必要があります。</p>

### 参 考 資 料

○芦別道有林での技術交流会の様子

